

INFORMATION



《NEWS》

■職場体験・体験学習を実施

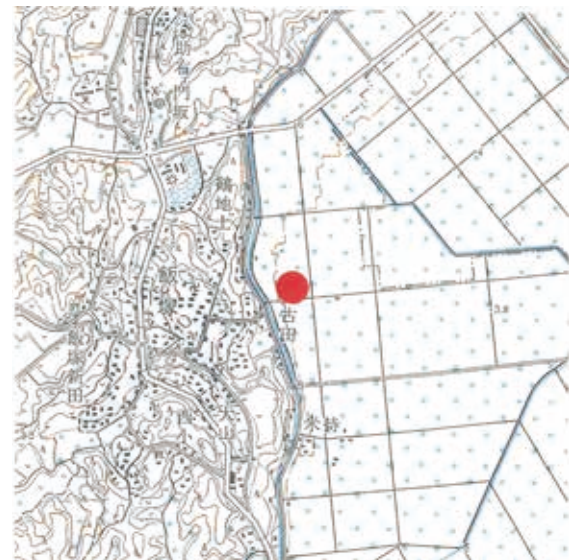
小学校・中学校の児童・生徒を迎え入れ、体験学習・職場体験を実施しています。今年度も10月～11月にかけて、佐倉市内の4つの中学校(根郷・南部・佐倉東・佐倉)と根郷小学校から来た子供たちが、当センターの仕事を体験しました。体験の内容は、実施した時期や学校ごとに異なります。当センターの仕事と埋蔵文化財に触れたことが、これから進みゆく社会への一歩を支えるものになったようです。



《ご案内》

■平成27年度企画展 「争いの痕跡」&「最新出土考古資料展」開催中

当センター考古資料展示室にて、平成28年6月24日(金)まで企画展を開催しております。今回の企画展では、考古学からみた戦争、紛争の様相を展示することによって、地域の歴史に対する造詣を深めていただくとともに、当センターにおける最新の発掘調査の結果を紹介しています。



表紙：匝瑳市多古田低地遺跡の位置図

《平成27年度 調査を行った遺跡》

- 〈成田市〉寺台城跡(第4次)(奈良・平安時代、中世) 下福田遺跡群Ⅰ(中世) 猿山与左工門遺跡(第2次)(縄文時代) 大久保塚遺跡(奈良・平安時代)
- 〈佐倉市〉佐倉城跡(大手門周辺第1次)(近世、近代) 間野台貝塚(第11次)(縄文時代)
- 〈四街道市〉馬場No.-1遺跡(第6次)(縄文時代、奈良・平安時代、中世)
- 〈印西市〉榎台第1遺跡(第2地点)(縄文時代、古墳時代、中近世)
- 〈匝瑳市〉多古田低地遺跡(縄文時代)
- 〈一宮町〉待山遺跡、待山古墳群(古墳時代)
- 〈茂原市〉国府岡遺跡(弥生時代、古墳時代、奈良・平安時代)

《平成27年度 整理作業をした主な遺跡》

- 〈成田市〉寺台城跡(第1次～第4次)(奈良・平安時代、中世) 大竹遺跡群Ⅲ(縄文時代、古墳時代、平安時代、中世)
- 〈佐倉市〉海隣寺於茶屋遺跡(第2次)(古墳時代、奈良・平安時代) 城次郎丸遺跡(第17次)(古墳時代、奈良・平安時代) 他
- 〈四街道市〉馬場No.-1遺跡(第6次)(縄文時代、奈良・平安時代、中世) 鶴口遺跡(第2地点)(古墳時代) 他
- 〈印西市〉前戸遺跡第3地点(奈良・平安時代) 他
- 〈栄町〉岩屋古墳(古墳時代) 宮前遺跡(古墳時代、奈良・平安時代)
- 〈柏市〉花戸原遺跡(縄文時代、古墳時代、奈良・平安時代)

※発掘現場、室内作業は見学できます。ご期待に添えない場合もありますので、かならず、事前にご連絡ください。

《おしらせ》

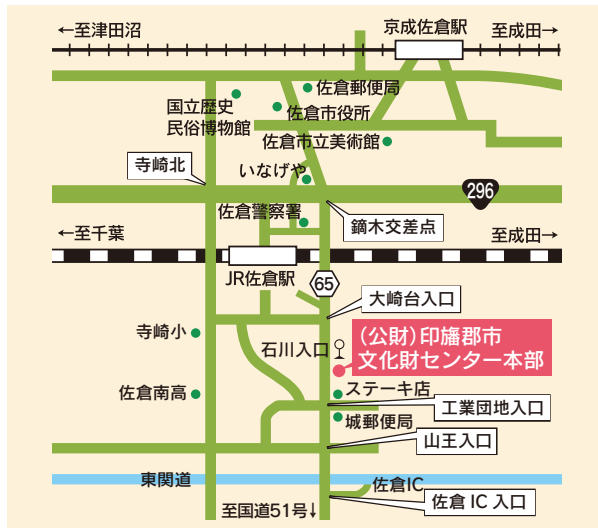
展示室開館日変更とPC・スマホサイトの案内

平成28年4月から、土・日・祝日は考古資料展示室を休館といたします。平日はこれまで通り開館します(10:00～16:30)。また、ホームページとスマートフォン版サイトに、当センターの最新情報をお伝えしていきます。

下記URLもしくはQRコードより閲覧してください。

PCサイト <http://www.inba.or.jp>

スマホサイト <http://www.inba.or.jp/sp>



千葉県佐倉市春路1-1-4 ☎043(484)0126(代) 千葉県佐倉市春路1-1-4 ☎043(485)9871 平成28年3月30日
http://www.inba.or.jp (スマホサイト) http://www.inba.or.jp/sp
千葉県佐倉市春路1-1-4 ☎043(484)0126(代) 千葉県佐倉市春路1-1-4 ☎043(485)9871 平成28年3月30日
http://www.inba.or.jp (スマホサイト) http://www.inba.or.jp/sp

■広報誌 フィールドブックvol.38 発行・編集 公益財団法人 匝瑳市文化財センター

FIELD BOOK



匝瑳市 多古田低地遺跡



多古田低地遺跡は、匝瑳市役所から北に約3km、椿海(つばきのうみ)と呼ばれた潟湖の岸に沿った標高約5mの低地に位置しています。(裏面参照)

今回の発掘調査は、水田の整備事業に先立って行われ、縄文時代後期、晩期の土器の他、多くの木製品が出土しました。特筆されるのは丸木舟の出土で、全長が約6.2m、幅は最大で約60cmを測ります。過去の調査、周辺の遺跡でも多くの丸木舟が出土していますが、ここまで大きいものは珍しいといえるでしょう。部分的に焦げ目がみられますが、これは削りやすくするために焦がしながら作業をした痕跡と考えられます。

多古田低地遺跡をはじめ椿海周辺は、日本国内でも丸木舟の出土数が極めて多い地域です。今回の調査でもその他に2艘の丸木舟、櫂が出土しており、当時の人々の生活において、欠かせないものであったことが窺えます。

四街道市 馬場No.1遺跡 (第6次)

馬場No. 1 遺跡は、四街道市物井に所在し、印旛沼に流入する鹿島川、その支流である小名木川・手繰川によって開析を受け形成された支谷に面する台地上に位置します。

これまで6次にわたる発掘調査が実施され、弥生時代の方形周溝墓や奈良・平安時代の竪穴建物群などが発見されています。第6次調査では、平安時代に遠隔地から搬入された土器が6号竪穴建物跡から出土しました。

ひとつは、仏具である灰釉陶器浄瓶です。胴部肩に水を入れる受口があり、頸部先端に細長い口を備えています。東海地方で生産されたものです。

もうひとつは、刷毛目甕です。張りのある胴の丈はやや短く、外面にハケメ、内面上部にナデ、内面下部に同心円の整形工具痕跡があります。このような甕は、滋賀県湖南地域に8世紀代の出土例を多く見ることができます。

馬場No. 1 遺跡とその周辺は、コの字状配置の掘立柱建物跡や香炉・緑釉陶器などが発見された小屋ノ内遺跡や大規模な集落が展開する稲荷塚遺跡が所在していることから、下総国千葉郡物井郷の中心であったと考えられています。この地の繁栄の一端を馬場No. 1 遺跡は担っていたと思われ、その象徴が浄瓶や刷毛目甕と言えるでしょう。



遺跡の位置 (S = 1 / 25,000)
1. 馬場No.1 遺跡 2. 小屋ノ内遺跡 3. 稲荷塚遺跡



6号竪穴建物跡



浄瓶出土状況
カマド南西部の上層から出土。



浄瓶



刷毛目甕出土状況
カマド中央部から大型甕の斜め下部より出土。



刷毛目甕



0 (1:160) 4m

遺構配置図

